



風っ子・環境キャンペーン



活動に協力した5～6年生の有志。後ろは、回収した資源ごみの一部。同校は2017年にアルミ缶リサイクル協会から回収協力者として表彰されている

甘楽町

地域と学校で 大規模リサイクル

甘楽町立福島小学校

甘楽町立福島小学校（甘楽町福島）は、年に2回、6月と12月に5～6年の有志児童と先生と保護者が資源ごみ

リサイクルをしています。雨の日でも決行し、30年間、大切に受け継がれてきました。年度初めと、活動日の1カ月前に回収板で地域の人の

資源ごみの協力を呼びかけておきます。当日、校庭では児童、先生と回収会社の大きなトラックが、グラウンドを取り囲むようにアルミ缶、本・雑誌、段ボール、チラシ・新聞と担当する品目ごとにわかれてスタンバイ。車で資源ごみを集めてきた保護者が、入口から順にそれぞれの品目の場所を回ると、児童と先生が降ろすのを手伝います。「1列になってバケツリレー方式でやろう」「缶を運ぶ人、袋に移す人と分担しよう」などに6年生が効率の良い方法を提案。みんなで協力し合って作業を進めます。

驚くのは、その規模です。今回だけでアルミ缶590キ、本・雑誌6150キ、段ボール7950キ、チラシ・新聞2万2120キが集まりました。これでも6月と比べると7割くらいの量だそうです。「普段から地域の協力が強い地域」と話すのは校長先生。「この日のためにためてお



資源ごみを降ろす手伝いをする児童

てくれるのでありがたい」と笑顔を見せます。児童会長の市川央さん（6年）は「活動をするようになって、自然とごみの分別をするようになりました」と、高橋結奈さん（同）は「みんなで協力しながら楽しいですね、地域がきれいになる取り組み」と、活動の意義を話してくれました。

甘楽町立福島小学校

校長 茂木浩校長 183人
 甘楽郡甘楽町福島939-1
 TEL: 0274-74-3136
 創立 / 1873 (明治6)年
<http://kanra-schoolnet.ed.jp/fukushimasho/>

日本で最初に給食が始まった学校。昭和天皇が深く関心を寄せられ、使者を視察に派遣したことを記念した碑が校庭に建てられ、町指定重要文化財になっています。



ものすごい量！
地域の協力がよくわかるね

群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第29-110989号

身近にできるエコ活動

リサイクルマークを見つけてみよう!

矢印と矢印の間に「紙」「プラ」「PET」などの言葉をはさんだマーク、見たことはありませんか？ 私たちが使う多くのものには、使ったあとのリサイクルやリユースのための分別を分かりやすくするためにマークが付いています。たくさんの種類がありますから、ふでばこやノート、お菓子の箱や牛乳パックなどから、いろいろなマークを見つけて、どういう意味か調べてみましょう。ごみの分別も楽しくなるかも？

群馬県環境アドバイザー 小峯幸子

風っ子・環境キャンペーン協賛社

(順不同)

